



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 334-A

ICHINOMIYA LIONS CLUB

一宮ライオンズクラブ

国際会長スローガン 「ウィ・サーブ」

一宮LCスローガン 「伝統に感謝 新たな未来へ ウィ・サーブ」

第 1500 回例会

2018~2019

No.18

花見例会

例会プログラム

と き 2019年4月10日(水)12:15
 ところ ザ・グランドティアラ一宮
 例会担当 親睦委員会
 スピーカーのご入場
 開会のゴング
 国旗に礼
 国歌「君が代」斉唱
 「ライオンズクラブの歌」斉唱
 「ライオンズの誓い」唱和
 「クラブスローガン」唱和
 スピーカーのご紹介
 会長挨拶
 入会式
 メルビン・ジョーンズ・フェロー・ピン贈呈
 誕生日のお祝い
 各委員会報告
 幹事報告
 スピーカーの時間
 アテンダンス報告
 テールツイスター報告
 「また会う日まで」斉唱
 ライオンズローア
 閉会のゴング
 スピーカーのご退場

スピーカーのご紹介

前参議院議員 大樹総研上席研究員

やすい みさこ

安井 美沙子様

◎テーマ 「今さら聞けない国政の話」

◎プロフィール

1965年9月11日生まれ、愛知県一宮市在住。
 東洋英和女学院高等部卒業後、上智大学法学部入学
 ニューヨーク大学ジャーナリズム学部編入、卒業。
 一橋大学国際・公共政策大学院修了。
 マッキンゼー等を経て、コンサルタントとして独立。
 大阪市役所市政改革本部調査員、東京財団研究員、大
 阪府特別参与等を歴任。
 2010年参議院選挙(愛知選挙区)で67万票頂き初当選。
 経済産業委員会筆頭理事、党副幹事長、党国際局副局長
 を歴任。2017年衆議院選挙に希望の党公認候補として
 愛知10区から出馬、66560票獲得するも惜敗。現在
 は無所属で捲土重来を期す。

新会員紹介



わたなべ たかひろ
L 渡邊 貴弘

S. 48.2.21 生 (46才)

会社名：やきにく十坪亭

業種：飲食業

スポンサー：L 中川幸男

所属：親睦委員会

住所：〒491-0859 一宮市本町 2-4-5

TEL (0586) 73-2900 FAX (0586) 63-3307

次の理事会 (第20回)

と き 2019年4月24日(水) 15:30

ところ 一宮商工会議所ビル 4F 401

次の例会 (第1501回)

CN 記念例会

と き 2019年4月24日(水) 18:00

ところ 犬山ホテル

送迎バス 旧おりひめ像跡 17:00

◎お誕生日おめでとうございます

4月1日 L坂本 毅
3日 L新垣憲勝
7日 L小川康則
16日 L松山 栄
16日 L井尾公治
17日 L尾上幸正
18日 L田中秀雄

◎メルビン・ジョーンズ・フェロー

1000ドル献金ありがとうございます

11回目(ラベルピンにダイヤモンド10個)
L大山 恭範
9回目(ラベルピンにダイヤモンド8個)
L石黒 薫
3回目(ラベルピンにダイヤモンド2個)
L西尾建一郎
3回目(ラベルピンにダイヤモンド2個)
L野寄 章
2回目(ラベルピンにダイヤモンド1個)
L大森正三
1回目(ラベルピンに楕)
L志賀龍司
1回目(ラベルピンに楕)
L坪内章浩
1回目(ラベルピンに楕)
L久保辰也

第 18 回理事会報告

と き 平成31年3月27日(水)11:00

ところ 一宮商工会議所ビル 4F 402

出席者

L五藤 L伊藤 L佐藤(彰) L小川 L野寄
L高橋 L野村(政) L佐藤(正) L西尾 L中沢
L坂本 L石黒 L田中(幸) L青山 L山中
L大山 L立川 L岡崎 L久保

議題

1. 次期役員構成(案)について

第1副会長L佐藤彰より

次期の役員構成(案)及び委員会構成(案)について報告、承認された。

2. 3R合同アクティビティ「小児がん患者支援チャリティゴルフ大会」(3/15)報告

親睦委員長L高橋敬より

当日は晴天の中212名の参加があり楽しくプレーできましたと報告。

3. 地区シェアリング交付金を活用しての地区小児がんセミナー(3/15)報告

マーケティング・コミュニケーション委員長L吉田憲司が、欠席のため次回以降に報告予定。

4. 第19回春季ティーボール大会(3/23)報告

会長L五藤一樹より

当日は天候に恵まれ決勝戦は萩原×木曾川 JBC 手に汗握る展開で最後の最後まで熱戦でしたと報告。

5. 4LC 会長幹事会(3/22)報告

会長L五藤一樹より

①一宮商工会議所例会時の食事について
有楽様より、次年度よりメニューが少しかわると報告。

②ICC ケーブルTV お天気チャンネルについて
2020年4月~2021年3月分...132,000円
(1クラブ33,000円)

例年通り18回で契約し、当クラブは66,000円を負担する。

③中部経済新聞社「天皇陛下のご即位記念特集」欄広告について

名刺広告:16,200円(税込)については各クラブの判断に任せる。当クラブは、掲載しない

④第65回複合地区年次大会(5/26・日)について
会場:オーバード・ホール オークスカナルパークホテル富山

今期は、稲沢及び稲沢緑LCも一緒に同行することに決定。

⑤合同事務局ノートパソコンについて

合同事務局よりノートパソコンを購入し、購入金額は188,784円でした。

6. LCIF 国際関係 YCE・レオ委員長報告

LCIF 国際関係 YCE・レオ委員長 L岡崎正剛より

本年度の1,000ドル基金の目標20口を設定し、皆様のお陰で目標達成できました。ありがとうございましたと報告。

7. 会員増強・会則・FWT委員会(3/27)報告

会員増強・会則・FWT委員長L山中一史より

やきにく十坪亭・渡邊貴弘様の入会が報告、承認された。また、L松山栄の交代会員として松山英樹氏、L坂本毅の交代会員として矢田賀也氏、L坂本毅のスポンサーの家族会員のL坂本幸子氏の退会が報告され、承認された。

また、L松山栄・L坂本毅両名については、家族会員ではなく特別優待会員で検討中。

8. その他

- ① 糖尿病予防セミナー「みんなで知ろうよ糖尿病という病気」(3/31)
- ② 真清田神社桃花祭(4/3)
- ③ はしご車・ポンプ車贈呈式(4/9)
- ④ 豊田ルネッサンスLC「チャリティゴルフ大会」(4/15)
- ⑤ 第77回6LC合同親睦ゴルフ大会(4/18)
- ⑥ ともいき宇宙の子どもたちボウリング大会(4/20)
ボウリング大会 11:00～ アソビックスびさい。
懇親会 魚辻 18:30～。
- ⑦ 第65回地区年次大会(4/21)
- ⑧ 一宮市国際交流協会理事会(4/22)
- ⑨ 江南LC結成60周年記念大会(4/27)
- ⑩ 海部LC結成50周年記念大会(5/14)
- ⑪ 一宮東LC結成40周年記念式典(5/21)
- ⑫ 第65回複合地区年次大会 IN 富山(5/26)

第 1499 回例会報告

と き 2019年3月27日(水)12:15
ところ 一宮商工会議所 3F



今回の例会は和のナチュラル薬膳協会代表理事の岩瀬早苗様をお招きし開催しました。

開会のゴングに始まり会長挨拶、先日フランス渡航。現地に着くと犬の糞があちらこちらに、飼い主は拾わず、しばらくすると別に拾う人がある。階級社会の一面に触れ、また労働時間は週 35 時間制で一人あたりの生産単価は高いが、ホテル清掃などは行き届かずのこともあり、日本との違いを実感する機会となった高話を頂きました。

本日のスピーカーのテーマは、「超簡単健康レベルが上がる食事の秘訣」岩瀬先生は自分の体験から食の大切さを。病弱な母親をよくしたいの思いから薬に頼り過ぎない暮らし方を考えられた。



1. you are what you eat! なにをどう食べるか

2. 体が元気になる 3つの習慣、

- ① ハッピーチュよく噛む、最初の一口だけ 30 回。
- ② + < - 足し算より引き算、一週間に一度は休刊日をもつ。陰の性質の食物バナナ、陽の性質食物焼肉など陰陽のバランスが必要、キーワード砂糖である免疫力低下してしまう。気を付ければ花粉症対策にも。
- ③ ホンモノの調味料を使う。本物の発酵食品の選択、しっかりとラベルを。実は血圧を下げる効果、ガンのリスクを下げる効果。最後に食を通じて元気にしたいと話され講演は終了。

その後、L岡崎正剛が LCIF1000 \$ 寄付 20 口達成を祝い、ライオンズローア、閉会のゴングで例会を終了しました。

例会担当 青少年教育副委員長 志賀 龍司



第 1499 回例会アテンダンス報告

会員数 214名 家族会員 113名
 例会出席対象会員数 101名
 出席者 58名 (メーク・アップ 7名)
 出席率 58%

第 1499 回例会ドネーション・ファイナンス

	合計	31,000
◎ドネーション		31,000
L 五藤一樹	スピーカー岩瀬様をお迎えた喜び	10,000
L 野寄章	”	5,000
L 大山恭範	3R合同チャリティゴルフ準優勝	5,000
L 高橋敬	3R合同 1Z/2Z チャリティゴルフ多数参加お礼	5,000
L 岡崎正剛	LCIF20 口達成お礼	3,000
L 土本和佳	3R合同チャリティゴルフ大会 5 位入賞お礼	3,000
◎ファイナンス		0
ドネーション・ファイナンス累計		1,542,100



活動するライオンズ

目の不自由なランナーをサポートする愛走フレンズ

島根県・多伎町ライオンズクラブ



出雲市は島根県中東部、神話の国・出雲の象徴である出雲大社を始め、豊富な歴史・文化遺産に恵まれている。その出雲の地にふさわしい「くにびき」の名を冠したマラソン大会が、毎年2月、出雲市で開催される。

出雲くにびきマラソンは1981年、翌年に開催される島根国体(くにびき国体)の気運を盛り上げるために始まった。500人強のランナーが参加した第1回大会以降、徐々に参加者が増え、2353人の参加で開催された。この第11回大会では初めて目の不自由なランナーが10kmコースに参加し、出雲市職員5人がリレー形式で伴走。これを機に目の不自由なランナーをサポートする市民ボランティア組織「愛走フレンズ」が結成され、翌年からは毎年10人前後の視覚障害者ランナーが走る大会となった。

今年も2月24日、島根県立浜山公園で第38回出雲くにびきマラソン大会が開催された。その中には、大会初の視覚障害者ランナーとして第11回大会に参加した半谷展男(はんやのぶお)さんの姿もあった。名古屋から参加した半谷さんを出雲市駅に出迎える多伎町ライオンズクラブのガイドヘルパー半谷さんは、二十歳(はたち)過ぎに失明。40代からランニングを始め、走力に自信が付いたところで、各地のマラソン大会に参加を打診するようになった。が、「けがをされては困る」「対応出来ない」などの理由で断られることが多かった。そのため出雲くにびきマラソンにも、ダメモトで参加を打診する電話を入れてみた。その時、対応に困った担当者は市長に判断を委ね、半谷さんの電話は市長室に回された。

半谷「私は名古屋の者ですが、そちらのマラソン大会に参加したいのですが、……」

市長「どうぞ、どうぞ。出雲くにびきマラソンには全国から参加されていますよ」

半谷「ただ私、目が全く見えないんです。よろしいですか」
市長は一瞬、言葉に詰まってしまった。が、当時の岩國哲人市長は常日頃「弱い人の立場に立って仕事をするのが行政の役目」と標榜し、出雲市も障害者福祉都市宣言をしていた。そのため次の瞬間には、岩國市長は半谷さんに「分かりまし

た。一緒に走れる人間を探してみましよう」と約束していた。市長は早速、担当課長を呼び、職員の中から伴走者を探してみたいと依頼。そして翌日、課長から報告があった。

課長「市長、5人見つかりました」

市長「みんな10km走れるのかね？」

課長「いえ、誰も走れません」

市長「走れない人間が5人いて、どうなるんだ」

課長によると、伴走を申し出た職員たちは「一人2kmずつ走り、5人で力を合わせてサポートするので、ぜひやらせてほしい」と訴えたという。それを聞いて岩國市長は感動し、涙が出そうになった。92年の第11回大会には、半谷さんの伴走を交替で務める5人の姿があった。出雲くにびきマラソンに、初の全盲ランナーが誕生した瞬間だった。

今年の第38回大会には、12人の視覚障害者ランナーがエントリー。「愛走フレンズ」からは42人の伴走者と14人のガイドヘルパーがサポートに当たり、多伎町ライオンズクラブも会員7人がガイドヘルパーとして参加した。

当日午前7時20分、前夜に愛知県・名古屋駅を出発した夜行バスが、出雲市駅に到着した。バスに乗っていたのは半谷さんだった。降車場では、半谷さんのガイドヘルパーを務める多伎町ライオンズクラブの竹下佳孝さんと鳥屋尾義明さんが待っていた。出迎えた二人が、受付までだいぶ時間があることを告げると、半谷さんは出雲大社への参詣を希望。3人はまず出雲大社で完走を祈願し、会場となる浜山公園へ向かった。その後、視覚障害者ランナーはガイドヘルパーに伴われて受付を済ませ、控え室で伴走者と対面。一緒に開会式へ参加したり、設定タイムの打ち合わせをしたりしながら、それぞれのスタート時間を待つ。また控え室では、ランナー同士で交流をしたり、以前に担当してくれた伴走者やガイドヘルパーとの再会を喜び合ったり、マラソンの他にも楽しみが多い。



「ここは3~4人が伴走を務めてくれたり、送迎や会場での世話など大勢の人が協力してくれたりして、いつも楽しみに参加しています。こんな大会は他にないですよ。私はもう十数回参加していますが、同じように毎回参加されている人の中に81歳の原益弘さんがおられます。私は今78歳なので、原さんのように80を過ぎても走れるように健康に留意し、85や90になっても、走れるうちはここに来たいと思っています」と半谷さんは話す。

多伎町ライオンズクラブはその大会で「愛走フレンズ」として活動することに誇りを持ち、今後もクラブの主要事業の一つとして取り組んでいくことを誓っている。